

# 2007 10月号 広報 みはま



八朔祭での赤ちゃん土俵入り（日向）

## TOPICS

- ハートフル対話2007を開催
- 治太やんBOX・治太やんメール
- 議会ニュース
- 美浜発電所の状況

No.441

平成19年9月21日発行

皆さんの声をまちづくりに生かす

# ハートフル対話2007を開催

多くの「ご参加・ご意見ありがとうございました」



町では、町民の皆さんと町政について語り合う座談会「ハートフル対話」を8月22日から9月7日にかけて、町内の7会場で9回開催し、約400人の方にご参加いただきました。

ハートフル対話は、山口町長と町民の皆さんがまちづくりについて意見交換を行うことで、町政について一層のご理解と関心を持っていただくとともに、いただいたご意見をまちづくりに生かすことを目的に、平成11年から毎年開催しています。

ハートフル対話では、町の現状やまちづくりの主な施策等について説明した後、参加された方からの質問や意見に対して、山口町長が説明や回答を行いました。

また、今回から新たに「健康ひまわり二出前講座」として、町保健福祉センター職員による町民の健康や検診についての講座を開催しました。



今回は、各会場の対話の中でいただいたご質問やご意見の一部を紹介します。

## 保育園の改築

あおなみ保育園(旧山東保育所)の改築の計画について教えてください。

また、工事中の代替施設については、旧菅浜保育所を使用すると聞いていますが、周辺道路が狭く送迎が困難です。送迎バス等の対応はあるのですか。



あおなみ保育園の改築については、同じ場所での改築の場所は狭く、県道に面しているため園児の送迎等において危険であることから、保育園北側の資材置き場と南側の農協の用地を買収して施設の拡張と送迎用のスペースを新設する予定です。

工事中の代替施設には、給食設備等が整っている旧菅浜保育所を予定していますが、できるだけ安全な方法で送迎を行うために送迎バスの運行や場合によっては交通整理員の配置を検討しています。

また、旧菅浜保育所だけでは手狭なため、旧菅浜保育所に隣接して仮設園舎の設置を検討しています。



## コミュニティバス



寄戸地区には昨年までバスが運行されていましたが、コミュニティバスになってからは路線が変わりバスが通らなくなりました。

地区にはお年寄りも数人いるため、非常に不安に思っています。



町では、現在このことについて対策を検討しています。暫定的な措置として、バスを利用される前に役場等にご連絡いただければ、バスを向かわせ、帰りは運転手にお伝えいただければ、周辺までお送りする方法を9月から実施しています。

この方法でのご利用が多ければ、寄戸地区のバス停新設を検討したいと考えています。

## 最終処分場

雲谷の最終処分場には、県外からのごみも搬入されるのですか？

処分場はどのような仕組みになっているのですか。



最終処分場の受け入れは、本町と若狭町の旧三方地域のごみだけです。エコクル美方で発生した粉塵など再利用できないものを処分しています。

施設は、防水を施したコンクリートの水槽のようになっており、屋根があるため、雨水等が入りません。

有害性のごみの毒性をなくすために、長時間かけて水で洗い流す仕組みになっています。使用した水は、施設内で処理して再利用し、施設外に流すことはありません。

国の厳しい基準を満たしており、15年〜20年間はごみを搬入できる容量があります。



## 道路整備

国道27号美浜東バイパスが開通すると、佐柿から郷市までの間の国道が渋滞するのではないのでしょうか。何か対策は考えているのですか。



バイパスの開通に伴い、国道27号の佐柿から郷市にかけて渋滞が予想されますので、国道の道路整備についての調査を国土交通省に要望しています。

また、国道27号から梅街道へJR小浜線と立体交差で抜けられる道を県道として整備してもらえるように県に要望しています。



工事中の美浜東バイパス(佐柿)

敦賀半島の縄間線のトンネル工事については、どのような計画で進んでいるのですか。



トンネル工事については、県が今年6月に発注しています。工事の延長は約1.9km、そのうちトンネルは1.4kmで、美浜側と敦賀側の両方から掘削工事を進める予定です。

完成は平成21年度を予定しています。

## へしこの町美浜



美浜町は「へしこの町」として宣伝をしています。町内でへしこ作りをしているところは、何か所あるのですか。また、生産量はどのくらいあるのですか。



平成15年当時は、町内で生産・販売しているところは3、4か所で、生産量は年間十数万本でした。

平成17年に「へしこの町」を商標登録してからは、町内でさらにへしこの生産が普及し、現在では8か所、年間約20万本以上に増えています。



町のキャラクター「へしこちゃん」

町内では、へしこを使った料理の開発が進んでおり、また血圧にも良いと新聞報道されていますので、今後も大いにPRしていきたいと考えています。

## 専門学校誘致



町に誘致した専門学校は、定員の280人を確保することができるとは。本町への移転を計画している現在の専門学校(小浜市)ではどのくらい学生が在籍しているのですか。



現在、小浜市で運営されている専門学校では、定員の6〜7割の学生が在籍しています。

専門学校では、来年4月の開校に向けて、学生の募集が行われています。今後需要が見込まれている理学療法士を育成する学校として期待されているため、学生の確保は可能であると考えています。

※定員280人の内訳

- ・理学療法科40人×4年課程＝160人
- ・介護福祉科40人×2年課程＝80人
- ・医療秘書科20人×2年課程＝40人



来年の4月に開校予定ですが、これから約半年間で間に合いますか。校舎の建設等に問題はないのですか。



建築基準法の改正により、外部審査に時間を要したため、着工が遅れています。建設工事については、10月着工、来年3月完成の予定で進めていると考えています。



専門学校の誘致については、効果が期待できるが、リスクも多いのではないですか。

また、学校用地は温泉施設のために買収したはずですが、専門学校の誘致に伴って、温泉施設の整備計画はなくなったのですか。



医師不足の現代において、リハビリの専門家である理学療法士の需要は今後もますます増えると考えています。専門学校が理学療法士を育成する優秀な学校になれば、リスクは小さくなるのではないかと考えています。

また、多くの学生が通学し、生活することは町の活性化につながります。町としては、学校のPRに協力していきたいと考えています。

また、温泉を核とした産業活性化施設については、福井大学と協定を結び、研究を進めてさまざまな提言を受けながら検討を続けています。専門学校の敷地面積は、全体の4分の1程度であり、産業活性化施設の整備に影響はないと考えています。



## 獣害対策



猿や猪などの獣が多く出没し、田畑を荒される被害が発生したり、子どもたちが危険です。何か対策はないのでしょうか。



獣害対策については、電気柵やフェンスで農地を囲んでいますが多額の費用がかかるため、集落全体で取り組む必要があると考えています。

また、猿の対策についても、猟友会などの協力を得て、週2回追い払い活動が続いています。

獣害被害は美浜町だけの問題ではありません。国の問題として獣害対策というよりも災害対策として捉え、自衛隊の活用も検討されるほど深刻な問題になっています。町だけでは限界があるので、県、国に要望を続けていきたいと考えています。

## 発電所の消防体制

 地震等の災害時に原子力発電所で火災が起きた場合には、発電所の自衛消防隊だけで消火活動が行われるのですか？

 美浜発電所では、想定される火災に対してさまざまな消火設備が備えられているとともに、自衛消防隊が組織されています。しかし、その活動はあくまで初期消火の範囲内で、原子力発電所といえども、原則としては町の消防行政の中で対応するようになっています。

しかしながら、地震等による災害発生時には、消防組合管内でも同時多発的に火災が発生したり、更には家屋の倒壊などから人命救助を要するような被害で発電所への対応が遅くなるとも考えられます。

このことから、原子力発電所においては、災害発生時にも迅速、確実に対応できる消防防災体制や火災の態様に応じた消火設備の整備なども含めて、日頃から十分な備えをしておくことが必要だと考えられます。

美浜発電所では、先頃行われた消防本部の特別査察でも、不備はないと評価されていますが、今回の地震を踏まえて自衛消防隊員の24時間常駐体制や確実に連絡を可能とする通報連絡体制の強化などを図っています。

## 避難道路

 美浜発電所への道路は、県道1本しかありませんが、道路が寸断されるような災害が発生した場合に問題はないのですか？

 美浜発電所は、半島部先端にあることから災害時に備えた道路の整備は重要であると考えています。

水島浜から敦賀市縄間へは、急勾配で急カーブの多い峠道をトンネル化する道路改良工事が現在進められています。しかしながら、現在も雨量によって通行が規制される道路であることから、白木と浦底をつなぐ道路の新設も含めて、早期の道路改良を国や県に強く働きかけております。

そのような状況の中で、万が一避難が必要となった場合には、船舶やヘリコプターなどによる避難の方法も考えなければなりません。



船舶による海上避難訓練の様子(H17)

## 発電所の地震対策

 新潟県中越沖地震と同じ地震が美浜で起きた場合、発電所は大丈夫ですか？

 福井県地震被害予測調査においても、美浜町では震度6程度以上の地震が起こる可能性があると考えられています。仮にそのような地震が発生したとしても、地質や地盤、また震源からの距離などによって揺れ方や、その影響は違ってきます。

現在、美浜発電所周辺においては、昨年9月に改訂された原子力発電所耐震設計審査指針に照らした活断層等の再調査や再評価が行われており、それにより、原子力発電所としての耐震安全性評価が行われることになっています。

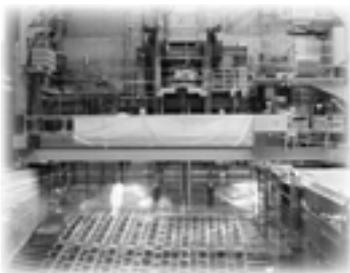
しかし、この評価結果が出るまでには時間がかかることから、関西電力側では、住民の皆さんに少しでも安心していただくためとして、今回の地震で実際に柏崎刈羽発電所で観測された揺れを、美浜発電所に当てはめ、原子炉を「止める」「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」といった基本的な機能が維持できるかどうかを検討・確認したうえで、9月下旬には公表されることになっています。

 新潟県中越沖地震により柏崎刈羽発電所では、使用済燃料プールの水があふれ、海へ放出されたとのことですが、美浜発電所では同じことが起こる可能性はないのですか？

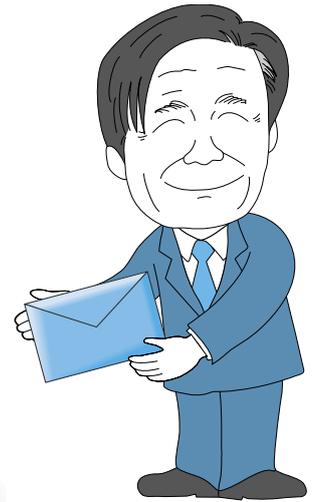
 使用済燃料プールの水があふれ出したとしても、管理区域の外へは広がらないように堰を設けるなどの工夫がされています。

また、管理区域から非管理区域へ通じる電線管にすき間があり、そこが漏れい経路となったことから、美浜発電所では、そうした箇所を含めて貫通部にすき間がないことが確認されています。

万一、プールの外にあふれ出たとしても床面に設けた排水口から、放射性物質を含む水として、専用の排水タンク等に送られるしくみになっています。そのうえで放射性廃棄物として適切に処理されます。



美浜発電所の使用済み燃料プール



町では、町民の皆さんにまちづくりに対してのご意見やご質問などをいただくための窓口として、お手紙でいただく「治太やんBOX」、電子メールでいただく「治太やんメール」を設置しています。

皆さんからお寄せいただいたご意見などは、山口町長が必ず読み、回答を送らせていただいています。

「治太やんBOX」は平成11年6月から、「治太やんメール」は平成13年5月から運用しており、



治太やんBOX  
(町役場町民プラザ)



治太やんBOX  
(総合体育館・中央公民館)

平成18年度には、BOXに12件、メールに9件の計21件、また、平成19年度には、これまでにBOX8件、メールに8件の計16件のご意見やご質問をいただきました。

今回は、皆さんからBOXやメールにいただいたご意見とそれのご意見に対する町の対応の一部を要約して紹介します。

治太やんBOX・治太やんメール

## 町に対するご意見、ご要望をお聞かせください

「治太やんBOX・治太やんメール」は常時受け付けています。

### 治太やんBOX (6か所設置)

- 町役場 (1階町民プラザ)
- 保健福祉センター「はあとぴあ」  
(1階ふれあい広場)
- 東部診療所
- 丹生診療所
- 総合体育館
- 中央公民館

### 治太やんメール

- メールアドレス  
[jitayan@town.mihama.fukui.jp](mailto:jitayan@town.mihama.fukui.jp)



### ～お願い～

「治太やんBOX・治太やんメール」を利用される場合、必ず住所と氏名の記入をお願いします。

せっかく貴重なご意見をいただいても、氏名などが記入されていない場合、町長から具体的な回答をお届けすることができません。

※お問い合わせ先 町企画政策課 (担当・上光) ☎32-6701

## AEDの設置状況



心臓が突然停止した場合に、電気ショックで正常な状態に戻す救命器具AED(自動体外式除細動器)が町内の公共施設などに配備されているようですが、多くの人が設置場所を知らません。

いざというときにAEDを迅速に使用することができるように町民に周知をお願いします。



AEDについては、現在、町内の学校や公共施設など多くの人が集まる21箇所に設置しています。また、設置施設においては、職員が救急法講習会を受講しています。

しかし、いざというときには、その場に居合わせた町民の皆さんにAEDを使用していただく場合もあります。

そのため、町では、広報みはま3月号においてAEDについての特集記事を掲載し、町内の設置箇所及び、心肺蘇生法についてをお知らせしています。

ぜひ、AEDについて、再度ご確認ください。もしものときの人命救助にご協力いただきたいと思います。



## 音声告知端末のサイレン音量



各家庭に設置されている音声告知端末で火災発生時に放送されるサイレン音が大きくて、小さい子どもやお年寄りが驚いて困っています。各端末ごとに音量を調整することはできないのでしょうか。

また、放送内容についても、内容が聞き取りにくく、話す早さも遅すぎるように思います。改善していただけないでしょうか。



音声告知放送端末での火災等の緊急放送は、地域に係らず全ての端末で発信元で設定した音量で放送を行っています。これは、町民の皆さんの生命・財産に関わる災害発生時において、確実にお知らせするためです。

また、火災発生時の緊急放送においても、町内全域に火災発生を知らせるとともに、消防団員の召集のためにも必要であると考えています。

しかし、ご指摘いただいたとおり緊急放送の冒頭のサイレン音は音量で突然鳴り出すため、聞かれた人が驚かれる心配があります。

そのため、設備を調整することにより、冒頭のサイレン音のみ音量を下げました。サイレン音の後のアナウンスはこれまでと同じ音量ですが、緊急放送の必要性についてもご理解をいただきたいと思います。

放送内容については、放送機器の調整を行うとともに、アナウンスの早さについて、適切な指導を行いました。

## 「ミニコミュニティバス」の中学校登下校への活用



美浜中学校への登下校において、「ミニコミュニティバス」を利用することがあるのですが、運賃が200円なので回数が増えると負担が大きくなってしまっています。

中学生の登下校におけるミニコミュニティバスの利用について考慮していただけないでしょうか。



美浜中学校の生徒の登下校におけるミニコミュニティバスの利用については、登下校にかかる負担軽減のために平成19年度の2学期から希望者に対して無料券を交付することにしました。

## 昼食時の窓口対応



お昼休みの時間帯に役場を利用することが多いのですが、その時に職員が自分の事務机で食事を取っているのが気になります。

利用する立場からは、見苦しく、声をかけるにしても気後れしてしまいます。また、口に食べ物が入ったまま窓口で対応されたこともあり、大変不愉快です。

お昼の時間帯の窓口業務を当番制にしたり、別室で食事を取ることができないのでしょうか。



昼食時の窓口対応については、これまでからも来客者の多い部署では昼食時間をずらして当番制をとり、対応を行ってききました。

今回のご指摘を受け、町では、各部署において対応を検討しました。部署の特性や来客数の多少により対応は異なりますが、休憩時間中に来客や電話対応を行う当番職員を必要に応じて配置するなど、休憩中であっても接客マナーと住民サービスに十分配慮して対応します。

全職員が自席を離れて、別室で昼食をとることは、場所的な制約もあり、難しいと考えています。

また、自席で食事をとることは、接客マナーに十分配慮がなされていないことを前提として、即時の来客・電話対応を可能にするなど住民サービス上の利点も多いと考えています。

今後も、職員の昼食については、休憩時間中の接客マナーと住民サービスに配慮し、自席でとらせていただきますのでご理解いただきたいと思います。

## 産業厚生常任委員会視察研修

### ●視察日

8月1日(水)～2日(木)

### ●参加者

兵庫賢一委員長  
山口和治副委員長  
飯田豊、山口勝己  
松田うめ子、前田義久  
金森恭、北村晋  
各委員  
辻健一郎議長

「はあとびあ」石丸所長  
同行

### ●視察先

長野県 飯田市、東御市

### ●視察目的

・体験型観光について  
(飯田市)  
・温泉を活用した医療費  
削減について(東御市)

### ●視察報告

産業厚生常任委員長 兵庫賢一

#### 〈飯田市〉

#### 体験型観光の先進地に学ぶ

飯田市は、長野県の最南端伊那谷の中央にあり、面積658.76<sub>2</sub>km<sup>2</sup>、総人口107,052人、世帯数37,615世帯、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化につつまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那

谷の中心都市として躍進しています。

「文化経済自立都市」をめざし、「多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり」をはじめとする9つの政策分野で46の施策を展開しています。

同市は、体験型観光の草分け的存在で、プロジェクト立ち上げからのリーダー的存在で、現在も先頭に立ち頑張っておられる竹前氏に、体験型観光の目的と基本理念、立ち上げから今日に至るまでの苦労話やノウハウまで、中味の濃い納得ずくめの充実した講義を頂きました。

現代の子ども達を取り巻く状況は、公共や他者に関わる心が育ちにくい状況が生まれていて、その原因は、社会・家庭・学校と複雑に絡み合っています。

家庭の教育力や基本的な生活習慣や「自分で考え、自分で判断し、自分で行動し、自分で責任を取る」という基本的な人間形成が不十分です。また、情報活用能力が低く、電子メディアの活用と抑制も不十分であり、その上コミュニケーション(人間関係構築能力)が衰えていると言われる昨今、「中山間地帯の農業の復興」の為に、体験型観光を取り入れ、実施に取り組みされました。

### ○体験型観光の理念

・体験の向こう側にあるものを見据える。

・感動をもたらすような体験こそがほんものの体験である。

・揺り動かされるような深い感動、心震えるような熱い思いを感じた時に、人は変わる(内発的自己変革)

### ○自分たちで企画立案し、地域の資源を直接旅行者へ持ち込む。

(街頭でのパンフレット・物配りは殆ど無駄)

### ○観光を通して農家に現金収入

当然のことながら対価無くしては、絶対に続かない。農家の後継者育成等も考えに入れる。

### ○宿泊は、農家で1泊・旅館で1泊

これについては、本来民家での宿泊(民泊)でのコミュニケーションは、子どもに与える効果は絶大であるが、地域振興の面から言うとホテル・旅館で泊めるべきであることから、2泊に関してのみ民泊と1泊ずつを考えています。

### ●平成17年度の受入れ実績

・学生109学校

約20,000人

(内宿泊利用85団体)

・一般185団体

約5,000人

(内宿泊利用60団体)

・旅館・ホテルへの宿泊

・農家ホームステイ 約17,000人

・約5,000人

・太平宿の明治期民泊 約2,000人

我が町においても体験型観光が4年目を迎えました。

(実質本格化したのは昨年)

平成18年度は、総数1,800

人程度

平成19年度は中間ですが、

・学校 11校 約2,000人

(内宿泊は11団体)

・一般 4団体 約200人

(内宿泊は2団体)

体験者の宿泊は、全てホテル旅館・民泊が現状です。もちろん、

宿泊に関しても民泊をと考えるに至っていますが、ホテル・旅館・民泊を数多く抱える町ですから、まずは地域振興のためにも、民泊に關しては同じように2泊以上に関するのみ考えても良いのではないのでしょうか。

まして、美浜町は海・山・田園さらには「ラムサール条約」の指定を受けた三方五湖を有する素晴らしい自然を無駄にせず、観光の町「美浜」を全町民あげて体験型観光・スポーツも含め、おおいにアピールしていきたいものです。

## 〈東御市〉

### 温泉を活用した医療費削減について

東御市は、平成16年4月1日に東部町と北御牧村が合併してできた市で、総面積112.3km<sup>2</sup>、総人口32,252人、世帯数1,302世帯(一世帯2.9人)、一般会計予算約126億円の規模で、高齢化率は25%を超えています。

「ケアポートみまき」は、財団法人日本船舶振興会(現日本財団)地域福祉創造プロジェクトのケアポート事業のモデル第3号として建設されたものです。

施設の概要は、総合相談窓口があり、保健・医療・福祉の全ての相談にのり、相談者を次のステップに案内します。中には次の4つの施設があり、それぞれの施設ゾーンが結びつき、融合しています。そして施設が一体となって訪れた人をサポートしてくれるシステムになっている。

「東御市立みまき温泉診療所」は、検診や予防注射はもとより、あたたかなふれあいのなかで積極的な医療を受けたいと願う患者が訪れ、医師や看護師らとの信頼関係も育まれ、大病にならないために日頃からアドバイスを受ける習慣が大切ですが、それがここで築かれています。



東御市立みまき温泉診療所

「ケアポートみまき」は、介護老人福祉施設で、全ての部屋が個室になっており、家族も訪問しやすく、建物自体があたたかな雰囲気、診療所が併設されているので安心感があるようでした。

「身体教育医学研究所」では、学校や家庭、社会に存在する「からだ」にかかわるさまざまな事象について、机上論ではなく、幅広く総合的・実践的な立場で研究を行っています。

「温泉アクティブセンター」は、その人の年代・健康状態・生活環境にあつた効果的な運動方法で、健康をつくり・育む場所と機会を提供。インストラクターや保健師、栄養士が体力づくりを手伝ってお

り、人気は高く利用者が多い。以上が、平成6年度から9年度にかけて1人当たりの老人医療費が全国で最も低下した自治体として注目を集めた市(当時は北御牧村)の、その原動力となっている施設の実態です。

研究部長の岡田氏によれば、「『温泉入浴は健康に良い』と医学的には未だ証明されていないが、温泉入浴と運動・生活指導を続けるれば、健康増進効果は着実にあがる。」ということでした。

取り組みはこの施設内にとどまらず、各集落へ出張しての運動指導教室を通じて、健康づくり・介護予防意識の高揚を図っています。

老人医療費が大幅に下がった東御市を視察させていただき、つくづく感じたことは、ただ温泉があ

るといっただけで人が入り、浸かっていたら健康に繋がるといいうものではないということです。

わが町にも温泉がありますし、総合体育館もあります。

健康福祉の拠点としては、保健福祉センター「はあとびあ」があり、中には温浴施設もあります。利用者は、1日平均約20人、年間6,000人ほどです。内風呂が普及した今日、温泉の湯があるからといっても、わざわざ出向く人は少ないようです。

もし、東御市のケースをモデルにと考えるのであれば、現在ある貴重な財産をいかに有効活用し、さらに必要な施設があればどうしていくのか。いずれにせよ、中途半端な資金や態勢で取り組めるようなプロジェクトでないことは、明確であります。

平成20年4月からの老人保健法・健康保険法の改正も睨みながら、厳しい財政運営の中でいかなる方向付けをしていくのか、我々に課せられた任務の重さを再確認した視察でもありました。



温泉アクティブセンター

# 美浜発電所の状況



今回の報告では、8月17日から9月14日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

## 新潟県中越沖地震を受けた 国と関西電力の対応

国（経済産業大臣）は、地震により発生した火災への消火活動に迅速性を欠いたことや設計時の想定地震動を大きく上回ったこと、更には放射能を含む水の漏えいに関して報告が遅れたことから、原子力発電所の安全確保に万全を期し、国民の安心と理解を回復できるようにと、7月20日、各事業者に対して次の3つの指示を出しました。

- ① 自衛消防体制の強化
- ② 迅速かつ厳格な事故報告体制の構築
- ③ 国民の安全を第一とした耐震安全性の確認

関西電力(株)では、7月26日に①及び②の項目について、次のような改善策を講じることを国に報告するとともに町へも説明がありました。

- ・ 自衛消防隊員の24時間常駐体制を整える(来年3月目途)
- ・ 化学消防車の更新と水槽車の配備(来年3月目途)
- ・ 消防機関と中央制御室間の専用回線(ホットライン)の整備を検討
- ・ 放射性物質を分析できる要員の発電所常駐化(今年12月目途)
- ・ 衛星携帯電話の配備等、通信手段の多重化や多様化を図る

また、③の項目については、8月20日に報告があり、その内容は、次のとおりでした。

- 「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」が昨年9月に改定されたことに伴い、現在、美浜発電所についても、改定された耐震指針に照らした耐震安全性の再評価が実施されていますが、この評価結果の報告時期を、当初計画から3か月前倒しして平成21年9月とすること。

- これまで実施してきた地質調査の評価結果や基準地震動について、また主要設備の安全性評価の概略について平成20年3月までに中間報告を行うこと。

- 今回起こった地震などから得られるデータを現在行っている耐震安全性評価に適切に反映すること。

また、この評価とは別に今回の地震については、住民のみならず社会的な不安が大きく、その不安をできるだけ早く解消するため、柏崎刈羽発電所で実際に観測された地震動のデータを使って、仮に美浜発電所と同じ地震があったとしても原子炉を「止める」「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」といった基本機能が維持されるかを評価、確認して、9月下旬までに報告・公表するとしています。

### ▼耐震設計審査指針(耐震指針)の改訂概要

項目	旧耐震指針	新耐震指針
想定する地震動(基準地震動)	最強地震と限界地震の2種類の地震動を策定	2種類の地震動の策定方針を一本化
一律に考慮する地震	マグニチュード6.5の直下地震	過去の地震観測記録に基づき原子力発電所ごとに設定
考慮する活断層	5万年前以降の活動が否定できないもの	後期更新世(最長13万年前)以降の活動が否定できないもの
施設の重要度分類	As(最重要)、A(重要)、B、Cの4クラスに分類	最重要クラス(AsからSに呼称変更)の範囲をAクラスまで拡大(S、B、Cの3クラスに分類)



発電所員による構内での消火訓練の様子

## ～小浜線利用促進協議会からのお知らせ～

### 10月から臨時列車を 運行します

今年10月から始まるNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」は小浜市を中心とする小浜線沿線が舞台となっています。

放送が始まることにより、観光客が小浜線を利用して来訪されることが見込まれることから、利便性を向上させるため、臨時列車4本を運行します。

#### ●運行日

平成19年10月～平成20年3月までの土日祝日

#### ●臨時列車運行ダイヤ

上り(東舞鶴行き)

・小浜9:41発→若狭高浜10:08着

・敦賀10:00発→美浜10:18発→東舞鶴11:42着

下り(敦賀行き)

・若狭高浜10:24発→美浜11:38発→敦賀12:01着

・東舞鶴12:15発→小浜12:52着

### 10月から美浜駅で 全車両の扉が開きます

これまで、敦賀駅・小浜駅を除く各駅での降車については、車内での運賃回収のため、先頭車両前方の扉(運転手の後ろの扉)のみを使用していましたが、10月1日からは、全ての車両から降車できるように、美浜駅などの有人駅の営業時間内に限り、全車両の扉が開きます。

これに伴い、有人駅の営業時間内での切符の受け渡し、運賃の支払いについては、改札口で行います。

※但し、無人駅や営業時間外については、これまでどおり先頭車両前方の扉からの降車となります。

●対象駅(有人駅) 美浜駅、三方駅、若狭高浜駅

●美浜駅の営業時間 午前6時～午後7時



### 「きなーれ!高浜 きてみなーれ!若狭」

嶺南地域全体の活性化を図るため、若狭路博フォローアップ事業(高浜会場)として、「きなーれ!高浜 きてみなーれ!若狭」が開催されます。

- 日 時 10月19日(金)～21日(日) ※19日は前夜祭 午前10時～午後5時(21日は午後4時まで)
- 会 場 メイン会場 中央体育館・町営グラウンド  
サブ会場 まちの駅「ぶらっとHome高浜」
- 内 容  
○海辺の屋台村 ○ステージショー  
○福井県キャラクター選手権  
○森野熊八・平野レミ料理&トークショー  
○ナナイロライブ ○セリ市 など

※メイン会場へは、若狭高浜駅から随時シャトルバス(無料)が運行されます。  
この機会に環境にやさしい「みんなの小浜線」をぜひご利用ください。

小浜線利用促進協議会では、嶺南地域全体の活性化を図る若狭路博フォローアップ事業(きなーれ!高浜 きてみなーれ!若狭)の開催に伴い、小浜線を利用された方に次のようなキャンペーンを実施します。

イベント開催期間中の20日・21日の2日間に小浜線に乗って会場最寄駅のJR若狭高浜駅で下車された方に改札で抽選引換券を配布します。

(配布時間・午前10時～午後3時)

抽選引換券を持って、抽選会場で抽選をすると…

#### 〈抽選その1〉

10名様に「高浜町産若狭ふぐ宅配便セット」をプレゼント!

#### 〈抽選その2〉

610名様に「屋台村お食事券」「小浜線特製マグカップ」「小浜線特製携帯ストラップ」をプレゼント!

●抽選会場 まちの駅(サブ会場・若狭高浜駅前) 特設テント内

●抽選時間 午前10時～午後3時30分

※お問い合わせ先 小浜線利用促進協議会事務局(小浜市鉄道新線・公共交通課内) ☎0770-53-1111

# くらしの 情報 BOX

## お知らせ

保育園新規入園児童の  
申込受付

町では、平成20年度に新しく町内の保育園に入園を希望される児童の入園申込の受付を行います。

### ●受付期間

10月15日(月)～26日(金)

### ●申込方法

各保育園にある申込用紙に記入し、お申し込みください。

### ●提出先

入園を希望される各保育園

### ※お問い合わせ先

町健康福祉課(担当・武田)

☎32-6704

## 町役場各部署直通電話番号

※役場へのお電話は、担当部署への直通電話が便利です。

総務課	32-6700
企画政策課	32-6701
税務課	32-6702
住民安全課	32-6703
健康福祉課	32-6704
商工観光課	32-6705
農林水産課	32-6706
土木建築課	32-6707
学校教育課	32-6708
生涯学習課	32-6709
出納室	32-6710
議会事務局	32-6711
上下水道課	32-1341

## 町各施設電話番号

はあとぴあ	32-3111
中央公民館	32-1212
町立図書館	32-0083
丹生診療所	39-1301
東部診療所	37-2911
総合体育館	32-3200

## 金沢国税局からの お知らせ

### 11月から「電話相談センター」 を開設します。

金沢国税局では、税務相談室または税務署にお寄せいただく電話による一般的なご相談やご質問について、金沢国税局税務相談室職員が集中的に受理対応することにより、一層、迅速かつ的確な対応を可能とするために11月1日から「電話相談センター」を開設します。

これに伴い、各税務署に併設しています税務相談室6分室(富山、高岡、金沢、小松、福井、武生)は、電話相談センターに移行します。

### ●利用方法

直接「電話相談センター」にお電話いただくか、敦賀税務署にお電話いただければ、自動音声案内により「電話相談センター」へおつなぎします。

### ●電話相談センター電話番号

☎076-263-8080

### ●利用できる時間

午前8時30分～午後5時

(土日祝日を除く)

※国税について調べるには、タックスアンサー(インターネット、電話音声、FAX)による情報提供)や国税庁ホームページをご利用ください。

### ・タックスアンサー

ホームページアドレス

<http://www.nta.go.jp/>

taxanswer/

### ・タックスアンサー電話またはFAX

0776-24-7766

### ・国税庁ホームページアドレス

<http://www.nta.go.jp>

### 税務署での面接相談には、 事前予約をお願いします。

具体的な書類を確認する必要があるなど、相談の内容により電話での回答が困難な場合には、関係書類等をご持参のうえ、税務署にてご相談いただいておりますが、今後は事前にご予約いただきますようお願いいたします。  
ご予約の際には、お名前、ご住所、ご相談内容をお伺いします。

### ※お問い合わせ先

敦賀税務署総務課

☎22-9265

